

News Release

2008年4月1日

入社式訓示：限界まで挑戦する、限界まで力を出し切ることが大切

太陽誘電(株) 代表取締役社長 神崎 芳郎

皆さん、入社おめでとうございます。

新聞やテレビなどの報道から、昨年からの景気が悪い方向へ変化していることは皆さんもご存知のことと思います。消費の減速、原材料の高騰、円高の急激な進展は、経営に対して厳しい影響を及ぼしています。このような厳しい環境下にありながら、エレクトロニクス業界では、経済新興国の勢いのある市場拡大により、パソコンや携帯電話、フラットパネルディスプレイなどの電子機器が大きく成長しています。こうした電子機器に数多く使用される電子部品は、台数の成長に加えて機器の高機能化が進展することにより、中長期的にも大きな成長が予測できます。

ただし、電子部品メーカーは私たちだけではありません。力強いメーカーがいくつもあり、厳しい競争環境が続いています。すばらしい商品を開発しても、手を抜くとすぐ追いつかれ、追い越されてしまう、成長が止まると即座に負けとなる厳しい業界です。技術力、生産力、収益力をつけて勝ち残るためにも、ものづくりの力に磨きをかけ、常に新しい世界に挑戦していく必要があります。そのような挑戦を継続することによってワンランクアップした企業になろうと、太陽誘電は総力をあげて頑張っています。そして、さらなる成長のため、2009年度から始まる新しい中期計画をこれから構築します。もちろん、今日仲間に加わった皆さんの新鮮な力を取り入れて成長を目指していくことは言うまでもありません。

太陽誘電を設立した佐藤彦八創業社長の言葉に、「吹かば吹け、苦難の嵐。打たば打て、虐げの鞭」というものがあります。どんなに苦しくてもその苦難に立ち向かい、克服し、成長する意志が必要だという強い思いです。是非、皆さんにも実践していただきたいと思います。

私は年頭の訓示において、「みずから一歩踏み出して挑戦しよう」と話しました。挑戦する意欲が大切です。限界まで挑戦する、限界まで力を出し切ることが大切なのです。

これから皆さんは仕事を通して色々なことを覚えていくでしょうが、仕事を進める中で分からないことが待ち受けていた場合は、納得するまで質問することが大切です。あいまいなままにせず、「なぜ」を5回繰り返して質問することを実践してください。

是非、この入社の日々の望み、その新鮮な感覚の上に、新しい知識や経験を加えて、さらに成長し、活躍してください。